

## 輸送動向について（平成25年度第3－四半期）

平成26年1月

### 1. 輸送概況

第3－四半期は、10月に発生した3度の台風接近等の自然災害に伴う輸送障害の影響等により、高速貨251本、専貨9本が運休した（前年同期間は、高速貨309本、専貨6本が運休）。

荷動きについては、10月の自然災害による輸送障害の影響を受けたものの、景気回復や円安を背景に国内生産が堅調に推移し、全体では前年を上回った。

コンテナ貨物は、自動車部品が現地調達化の進展により前年を下回ったものの、震災により被災した生産拠点の復旧及び円安により国内供給が増加した紙・パルプ、引続き順調な発送の積合せ貨物、売行き好調により出荷が旺盛となった食料工業品等が前年を大きく上回り、全体では前年比105.3%となった。

車扱貨物は、石油が10月上旬に価格の先高感を受けて出荷が旺盛となったものの、12月上旬の気温上昇及び価格上昇により減送となった他、一部顧客が、7月の山口地区の豪雨の影響により山口線の一部区間が線路不通となっていることから減送となった。結果、車扱貨物全体では前年比96.7%となった。

### 2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	3－四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,782	5,489	105.3%
車扱	2,637	2,729	96.7%

### 3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	618	620	-2	99.6%
	化学工業品	536	500	36	107.1%
	化学薬品	395	367	28	107.6%
	食料工業品	883	833	50	106.0%
	紙・パルプ	864	777	87	111.2%
	他工業品	418	425	-7	98.2%
	積合せ貨物	627	571	56	109.9%
	自動車部品	222	233	-11	95.2%
	家電・情報機器	125	129	-4	97.0%
	エコ関連物資	128	125	3	102.8%
	その他	967	910	57	106.3%
	コンテナ計	5,782	5,489	293	105.3%
車扱	石油	1,809	1,892	-83	95.5%
	セメント・石灰石	391	359	32	108.9%
	車両	259	254	5	101.7%
	その他	179	223	-44	80.2%
	車扱計	2,637	2,729	-92	96.7%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）